

北辰会報

第29号

発行者 大阪府立北野高等学校
 定時制課程同窓会北辰会
 会 長 岡 田 多 間
 編集者 事務局長 前 田 直 人
 事務局 〒666-0262
 兵庫県川辺郡猪名川町見台1-2-97
 TEL・FAX 072-766-4170
 maeda-inagawacho@gaia.eonet.ne.jp
 印刷 株式会社グラフィカ
 DTP TEL 06-6765-1210 FAX 06-6765-1211
 デザイン info@graphic-a.net

来年12月31日をもって栄えある北辰会は解散します 校歌と北辰会の歴史は残ります!!

北辰会会長 おかだ たもん 岡田 多間 (18期)



昨年の挨拶でも述べましたが、各期の同期会や親睦会等、私たちの青春のオアシスである北辰会の仲間との語らいが少なくなっています。また長年北辰会を支え続けて頂いた諸先輩もご高齢となられ訃報も多く届いています。

更に大きな問題があります。それは、北辰会の推進役として活動して頂いている常任幹事や各期幹事の方々の高齢化の問題です。同期会も幹事の高齢化、固定化が進み、同期会の解散も見られます。無論3役も同様です。閉課程から14年が経過し、会員の高齢化は必然です。

北辰会活動は2022年も前年同様に新型コロナウイルス感染拡大の大きな影響を受け、3年連続で停滞しています。昨年活動された同期会の報告は18、24、25の3期のみで、同好会等も開催出来ず、会報発行と北辰会HPによる情報発信に偏らざるを得ない状況が続いています。

このような情勢を受けて、北辰会拡大常任幹事会は深い論議の末に、断腸の思いで北辰会の解散を決意しました。そして解散に向けた規約の整備、および北辰会解散を2022年6月の幹事会に提案し承認されました。ここに2024年12月31日をもって北辰会を解散することが決まりました。会長はじめ常任幹事、各期幹事の皆様の断腸の思いの決断です。

北辰会は1941年に大阪府立夜間中学第1回卒業生49名で発足し、初代会長に酒井芳正さんが就任されました。しかし北辰会の活動は戦時戦後の混乱や高度経済成長期の卒業生の多忙などが相まって母校創立50周年頃までは十分に出来なかったようです。1987年(昭和62年)の母校創立50周年を境に北辰会は今まで溜まっていた人材とエネルギーが湧き出しました。北辰会活動高揚の始まりでした。それから平成、令和を経て36年になります。しかし定時制高校をとりまく環境の変化等により2009年には北野高校定時制も閉課程となりました。

それでも北辰会は今日まで、情勢に合った会則改正を行い、会長以下役員を整備し、常任幹事会、幹事会、同期会、同好会、総会と有機的に活動を進めて参りました。北辰会報、文集北辰、北辰会DVDの発行、北辰会HPの創設など、会員皆様からの賛助金により運営される全国に誇れる定時制高校同窓会として存在したと思います。しかし、現在の活動を支える常任幹事会を引き継ぐ役員が思い浮かびません。今後の急激な活動の停滞が予測される中で元気な今が栄えある北辰会を閉じる時だと決断した次第です。

これ迄の皆様の北辰会への熱い思いとご協力に心より感謝を申し上げます。

今後は同期会・同好会等の活動を継続して頂ければ幸いに存じます。

目 次

会長からの挨拶	1	同期会・同好会だより	12
府立北野高等学校 教頭 ご挨拶	2	事務局からの報告	15
皆様からのたより	4	北辰会賛助金(運営資金カンパ)と北辰会冊子「北辰VI」予約受付のお願い	19
この人あり	10	編集後記	20

ご 挨拶

府立北野高等学校 教頭 いしだ かずひろ 石田 和弘



北辰会会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。今年度教頭に着任いたしました石田 和弘と申します。

私は、平成7年に新任で北野高校全日製の英語科教諭として採用され、9年間お世話になりました。その後12年間は2校で勤務したのち、平成28年4月に再び北野高校に戻りまして、7年間英語科の教諭として勤務し、今年度教頭に着任いたしました。

1回目に赴任した時には、まだ定時制課程があり、旧校舎で老若男女の生徒が1つの教室で一生懸命に勉学に励んでおられる姿を見ておりました。72年の長きにわたり各方面で活躍されている人材を多く輩出されており、北辰会がその方々の縦と横のつながりの要となる役割を果たしてこられています。これからも北辰会が多くの卒業生のつながりを大切にしていかなれることを祈念しております。どうぞよろしくお願いいたします。



～万感の思い! 60年の空白を、一挙に取り戻した思い～ 北辰会幹事会での私の歓迎レセプション

キミ オア かねむら きみこ
23期 KIMI ORR (旧姓 金村 紀美子)

この度は有難うございました。私のために昼食会が開かれ、お会いしてみたいと思っていた人達が面々と参席していただき嬉しく思いました。私なりに前田さんのことを事務局長という肩書から“固くて融通の利かない人では”と想像しておりましたが。私の想像は見事裏切られました。背が高くやさしいあのスマイルは自信とゆとりだと思いました。Committeeの前で座っている姿はまさに凜然としておられ、あれこそ前田さんだと認識いたしました。

幹事会の会合にはたくさんの方々が出席されていることに圧倒されました。北辰会がいずれは解散されて行く事実を思いを馳せる人たちが、どのような思いをもってここに出席されている

のだろうと思うと胸が熱くなる思いでした。また、いつも会報の一面などに爽快な笑顔で、ご挨拶をなさる岡田会長が交通事故とは云え、杖を使っておられるそのお姿にショックでした。承りますと半年余り入院、リハビリ後で、そのような状態でありながらも会長として役割を果たしておられるお姿はまさに「北辰魂」そのものでした。

思いもよらない皆様から私へのプレゼントに深く感謝いたします。

岡田会長からの贈り物に恐縮いたしました。不自由なお体で、どこでこれを、と思いを馳せると胸がいっぱいでした。私が皆様の前で感謝のご挨拶を申し上げようとマイクロホンを持ち

上げたとき、胸の奥から押し寄せるような物がこみ上げてきました。その瞬間感情をコントロールしようと思うや否や涙腺まで到達し、一言の言葉を発することなく、その場を去ってしまったことを深くお詫びいたします。そのような私に温かい拍手を送っていただき、もう感謝の念

しかありませんでした。

50年いや60年の空白を、この場で一挙に取り戻した思いでした。有難うございました。また、お会いできる日を願いながら、

北辰会の皆様どうかご自愛くださいませ！

(2022年6月20日/記)

ようこそはるばる北米から北辰会へ

北辰会会長 おかだ たもん 岡田 多聞 (18期)

ご紹介頂きました、北辰会会長、岡田多聞と申します。今回の北辰会拡大幹事会にアメリカ合衆国在住の23期KIMIさん旧姓金村紀美子さんをお迎えして歓迎セレモニーを開くことが出来、北辰会会長として喜びに堪えません。お忙しい中、ようこそ北辰会へ

キミさんとは2020年8月、アメリカ合衆国から事務局へメールが届き、事務局、23期畑地常任幹事を通じ北辰会との交流が始まりました。北辰会へは毎回、賛助金とその時々の記事を頂き、会報、北辰会HPに紹介させて頂いています。北辰会が元気で活発の中で本当に喜んでいます。北辰会もワールドになったものと自賛していま

す。記念品として北辰会からはかさばらない物、新茶と29期竹本大鶴さん作成の卓上型書を送らせていただきます。北辰会と故郷日本を味わってください。

簡単でございますが私からの北辰会歓迎挨拶とさせて頂きます。キミさんありがとうございます。何時までもお元気で活躍を祈念いたします。

事務局より

岡田会長からは会長自ら選ばれた日本の歌曲CDとそれを聞くプレイヤーが送られました。又、後日キミさんから関係者各位皆様にお礼の品物が送られてきました。

～私の人生の1ページに花を添えてくれた瞬間～ 来日同期生との昼食会の日

23期 キミ オア かねむら きみこ KIMI ORR (旧姓 金村 紀美子)

11時半に阪急十三駅西口で待ち合わせであった。11時25分頃に着いたら、案の定、堂本さんが既に来ていた。「早く来るって言っていたから私早く来たのに、心配して今電話したところよ」って、私を見て安心したように言った。

高校時代、よくここで待ち合わせた。いつも水谷さん(旧姓/楠田)が待ち合わせの時間に遅

れてくる。でも今日は私の後を追うように彼女がやって来た。11時30分きっかり。

「急行に乗ってここ乗り越してしもてな」と、楠田さんが言ったら すかさず堂本さんが、「なにゆうてんのん、ここ急行とまるやないの」と突っ込んでいた。

現在彼女は堺市の浜寺に住んでいる。彼女の



家は駅から歩いて20分かかる。ここへ来るのにかなり時間がかかったはず。彼女たちのフレンドシップが嬉しかった。十三駅を離れて駅前の信号を左に折れた。そして次の信号を右に曲がって北野高校へ行く方向へ歩いた。今この道を歩くのは卒業して以来のことである。今、78歳になろうとしているから60年前のことになる。高層ビルやホテルが立ち並び、何もかもがあの頃と違っていた。これが発展というものだろうが、、日本に帰ってくるたびに故郷が故郷で無いような奇妙な気持ちになる。大阪駅北側に「伊勢丹」がたち。阪急ホテルのあたりから大阪駅の北側のコンコースにつながっている。こんなことは思いもよらなかったことである。

以前住んでいた我が家の周りも、軒並み新しい家が立ち並び、近代的なビルが立ち並ぶ。私はそんなものに全く関心がない。そんな合間をぬうように古い家や、中二階の長屋など遠慮がちに残されているのを見ると、なぜかホッとする。しばしそこに立ち止まり妄想にふける。今どなたがこの家に住んでおられるのだろう。隣

の家は玄関の前に草が生えっぱなしである。窓にはカーテンがかかっているが、多分誰も住んでおられないのかもしれない。そのように思いながら、古い友人に出会ったような気分になって声をかけたくなる。「私もあなたと同じくらい古いのよ」日本にいる間、朝の散歩は毎朝ルートを変え、古い友人を捜し歩いた、、

堂本さんのリードでこぎれいなホテルに着いた。その三階ということでエレベーターに乗ったら畑地さん（だとすぐわかった。）がすぐ私たちのうしろから、「遅れた」といいながら乗ってこられた。昼食会の部屋に案内されたとき、（私たちを含めて十人ぐらいだった。）ほとんどの方は来ておられた。高校時代、隣のクラスだといえ、あの頃、馴染みはなかったが、今、お会いして全く違和感がない。この食事会の後に北辰会の幹事会の会合が控えているとは云え、私のために朝早く、府外や、遠方から出かけてこられた方々にありがたく嬉しく思いました。こちらに来る前はもうみんな歳も歳、年老いた感じだろうと想像していた。

顔のしわは年輪だという。しかし歳が全くお顔に現れず、若々しい高校時代の素顔そのままでした。まさに私の人生の1ページに花を添えてくれた瞬間でありました。この昼食会に参加された人たち、又、この日のために何かといろいろと企画なさってくださいました畑地さん、心からお礼申し上げます。

(2022年6月20日/記)

皆様からのたより

大先輩より北辰会入会の申し込み有り
～12期 池端 ^{いけはた} ^{ただし} 正さん92歳～

事務局 ^{まえだ} 前田 ^{なおと} 直人

2022年6月初め、北野高校の事務長様より池端

様から友達の名を知りたいとの連絡があったとメールが届きました。

直ぐに池端先輩に連絡いたしました。事情をお尋ねすると「仕事の都合で同期生、同窓会とも疎遠になっていたが、大阪に居を移したので学校に連絡した」と懐かしそうにお話して下さいました。

事務局としては無暗に会員の個人情報をお知らせ出来ないとお返事致しました。

先輩は同窓会が元気よく活動されていることに感激されていました。賛助金も出したいし、

名簿に住所を記載してほしいと熱っぽく語られました。

その後、池端先輩とは、賛助金を頂く、北辰会発行の書物を購入して頂く、等電話でのやり取りが続いています。

ある時の電話で校歌の1番を歌われました。先輩の記憶力に驚くやら、又、私たちの校歌は同窓生を繋ぐ歌だと誇りに思いました。

今回、池端先輩より第一報の文書が届きました。

事務局として今回、池端さんに12期幹事をお受けして頂きたいとお願いし快諾を頂きました。2023年4月23日の北辰会幹事会で紹介させて頂きました。最後まで北辰会と共に歩んで頂けると感じ心強い思いです。

2024年12月31日に閉じる北辰会にとって大輪の花が咲くような予感と気持ちにさせて頂いております。

池端 正^{そら}の宇宙 ～川柳10句～

12期 いけはた 池端 正^{ただし}



某新聞社の「川柳コーナー」への入選90句の中から10句を選んでみました

()は投句年です。

(1994年)

・定年の後の無趣味が恐ろしい

(1995年)

・ぼんやりとたたずむ夢二の絵の美人

・皺枯れの手で描く瑞々しい裸像

(1997年)

・ジープンの見様見真似の風の盆

(1998年)

・サーカスに息呑むジュース持ったまま

・創世記斜めに読んだだけの縁

(1999年)

・マイウェイ妻を不幸にしてるかも

・写真家に女体オブジェになってくる

・遠州の庭にヌードのモデル嬢

(2001年)

・春風に尻もちをつく一歳児

(2006年)

・原発を宙に浮かせる票の数

(2008年)

・コロのないおでんに舌が寂しが

(2009年)

・他人には優雅に見える二重顎

(2010年)

・強がりを妻はにっこり受け止める

(2012年)

・青の洞門恩讐遙か鑿の後

(2013年)

・コップより両手が旨い岩清水

(2017年)

・シュレッダーにかけても浮かぶ罪意識

(2020年)

・後世に伝えん炎天のマスク

(2022年)

・魂とたましい決闘するゴング

中村津也子さん（長女）からのメール

いつもお世話になります。先日、北辰会のHPを本人に見せたところ、大変喜んでおりました。とりわけ、旧友の新井實さんが投稿された文章を読んで大変懐かしがっておりました。

さて、先日もお伝えしましたとおり、父は以前から川柳を作句することをライフワークとして余生を過ごしています。「川柳塔」という川柳を専門とする雑誌の同人として作句に励んでいます。また、朝日新聞の「なにわ柳壇」というコーナー（毎週水曜日の朝刊）に「丹後屋肇」という雅号で投句しており、現時点で90句入選しています。本人は、100句入選を目指して励んでいます。本人が言うには、100句入選すれば句集を上梓すると意気込んでいます。今回、90句の中から本人がアトラダムに選んだ19句を送らせていただきます。そちらの紙面のご都合もあるかと思しますので、良しなにお取り計らいください。

事務局より

池端様は大阪の娘さんご夫妻宅に同居しておられます。今回の寄稿に際して娘様である中村津也子(つやこ)様より上記のメールを頂いております。娘婿である中村隆茂様には北辰会からのメール連絡や池端正様の文章入力などの労をとって頂き大変お世話になっております。

61期 小島 強さん 著作続編「私の消防史」届く

事務局 まえだ なおと 前田 直人

昨年頂いた1冊目の「私の消防見聞体験記」に続き続編が4月に届きました。

2003年以降北野高校定時制卒業後、21歳からの生活、仕事、消防に関わった出来事、行ったこと、などが丁寧に書かれています。2003年彼の初出版記念会からの書き始めです。

2010年から彼が2023年41歳までの出来事が書かれています。少しの知的障害を抱えながら、自立のための仕事、お金などで失敗し、周りの人たちに助けられ、懸命に生活してきました。そして、現在の一人暮らしをする迄の生活と消防との関わりが共に記述されています。

保護から自立へ

私は前回の読書感想でも述べましたが、小島さんの目標は保護される立場から自立（自律）であると努力されています。その道はまだ半ばだと思いますがこの目標に向かって小島さんなりの歩みを続けて欲しいと思います。彼は人との関わりを嬉しく思い、感謝し、激励されながら歩まれると思っています。

小島さんは多くの人と関わり感謝を述べています。今後も彼の道を歩んで行くと思います。

小島さんが明るく生きることの出来る、受け入れる社会を皆さんと一緒に作りたいものです。

消防の関わる自分史は小島さんしか書けない本だと思います。さあ次はどのような3冊目の本が出来上がるか楽しみにしています。



西国三十三所観音霊場巡礼を实践 していて令和4年12月2日のお参りで 「満願」達成となりました。

23期 常任幹事 はたじ ゆたか 畑地 豊

西国三十三所（さいごくさんじゅうさんしょ）

は、観音巡礼の一つ。観音菩薩を祀る近畿地方2府4県と岐阜県の三十三箇所の札所寺院と三箇所の番外寺院からなる観音霊場は日本で最も歴史がある巡礼であり、現在も多くの参拝者が訪れている。

「三十三」とは、『妙法蓮華経観世音菩薩普門品第二十五』（観音経）に説かれる、観世音菩薩が衆生を救うとき33の姿に変化するという信仰に由来し、その功德に与るために三十三の霊場を巡拝することを意味し[1]、西国三十三所の観音菩薩を巡礼参拝すると、現世で犯したあらゆる罪業が消滅し、極楽往生できるとされる。

文化庁の令和元年度「日本遺産」の16件（累計83件）の一つに、『1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼～』が認定された。

（ウィキペディア Wikipedia より引用）

2023年の節分も過ぎて、巷では紅梅が色づき春を呼んでいる季節となって来ました。みなさまお変わりなく息災のこととお喜び申し上げます。

投稿記事内容はいささか私事になりますがお許し下さい。

冒頭にウィキペディア Wikipedia より引用の記事を紹介させて頂きました。

1. 巡礼の開始

今は亡き母の感化を受けてこの巡礼を開始したのが2001年（平成13年）それから2010年（平成22年）までの間に32カ寺のお参りを済ませていました。

最後の札所第27番姫路市書写山の園教寺さんがお参り出来ていなかったのです。

2010年からこの間の10年間と言うものは、あと1カ寺という気持ちに少しゆとりを持って楽しんでいたのでしょか！ とても罰当たりなことだったかも知れません。実は2011年にもこの大阪から姫路までお参りに向かったのですが、

時は秋の紅葉シーズンでした。この書写山も紅葉の名所で知られています。

私もお参り＝満願と、ついでに紅葉鑑賞の一石二鳥を秘かに胸に秘めていたのです。ところが現地に着いて見ると車がいっぱい周辺に駐

車場も満杯で、結局お参りをあきらめて出戻って来たのでした。

数日前に関西のテレビで「書写山の紅葉真っ盛り」という特集情報が流されていたのです。この効果であったのでしょうか。「一石二鳥」を目論んだ私に仏罰が当たったと深く懺悔する羽目に陥ったのです。

2. 母の思い出

私の出身地である三重県熊野市に在住の今は亡き母が実践していて、私が生活している大阪に来るたびにここを足場として近隣のお寺さんにお参りしていたことを思い出します。母は当然ながら自動車運転など出来ない昔人間（明治後期生まれ）なので足はと言えば、公共交通機関以外は全て「自分の足」でした。携帯電話など勿論無い時代ですから道順や時間予定など簡単に調査することも困難な時代でした。それでも都合2回の「満願」を達成しています。

姫路市書写山の円教寺、舞鶴市松尾の松尾寺、岐阜県揖斐郡谷汲村の華厳寺、和歌山県那智山の青岸渡寺などをはじめとして、札所巡りのお寺さんは、今の人間的感覚で言いますとそれはそれは遠い遠い交通不便な場所にあります。バス便があったにしても最寄りの鉄道系の駅からお寺さんまできっちりと路線が整備されているわけでも有りません。最寄りのバス停から相当

歩かなければなりませんでした。それらの多くは標高400m程の山の上か、中腹に位置しています。今更ながらにその重さに頭が下がります。

3. これから如何に生きるかを考える。

それから反省しながらの13年、昨年（2022年12月）満を持して姫路市書写山の園教寺さんにお参りをさせて頂き、無事に「満願」達成させて頂きました。これを糧としてこれから如何に生きるか、さらなる成長を学びたいと思っています。

この皆様からの便り2019年6月24日「河内長野・しゃくなげ鑑賞会に参加して」に、26期「途上人KITANO」の皆さんと山登りした時にお参りさせて頂いたお寺さんが、西国観音霊場第4番榎尾山の施福寺さんでした。

私は既に2010年にお参りをしていました。

いらっしやい!桜満開の「桜井・山の辺の道」を散策して

29期 たけもと はるお 竹本 治男(大鶴)

3月29日（水）同期の大塚良博さん・福田幸次さん・山田道雄さん・家内と私の5名で「山の辺の道」を天理市柳本から桜井の桧原神社まで散策しました。好天に恵まれ思い出に残る最高の一日でした。

(スケジュール)

近鉄桜井駅10時30分集合→JR柳本駅…（徒歩）



満願達成の御朱印



最後のお参り第27番姫路市書写山園教寺さんの御朱印



西国三十三所 観音巡礼第27番書写山円教寺



西国三十三所 観音巡礼第1番那智山 青岸渡寺



額田王の石碑から三輪山の風景(左から私・大塚さん・山田さん・福田さん)

…黒塚古墳展示館…長岳寺…天理市トレイルセンター（昼食）…崇神天皇陵・景行天皇陵を見ながら…

相撲神社（勝利の聖・徳勝龍の優勝記念碑）
…松原神社…竹本宅で休憩…

JR巻向駅→JR桜井駅…割烹あまのにて夕食会
…近鉄桜井駅解散（19時30分）

2023（令和5年）3月30日 記

「逢いたかったぜ」を 唄える日はいつ来る

さかもと しげお
24期 坂本 成男

悪名高き「旧統一教会」に100名位の国会議員

岸田政権が内閣改造ですって、旧統一教会問題からの目くらましで目の前の難題に積極的に取り組むか。でも、臨時国会3日で閉じてどこが積極的ですかね。すでに新閣僚の7人が旧統一教会の疑惑の人。旧統一教会との“濃厚接触者”はまだまだポロポロ出てきそう。

霊感商法に、高額寄付しなきゃ地獄に落ちるか。破産させてそれでもローン組ませて献金させ、これに今は亡き安倍元総理が関連組織にビデオメッセージ。参議院選挙で比例区統一教会票の割り振りの旗振り役ですか。

安倍元総理の国葬無理をしない方が

凶弾に倒れられたのは御気の毒ではありますが、国葬を挙行しますか。なんでそんなに慌てて行いますか。意味不明と思うのは私だけでしょうか。アベノミクスの果実は私たちには全く無縁、海外視察か訪問は確かに多数、あのプーチンさんとは30回近く会談、でも4島はおろか、やらずぶったくりじゃあね。そして森加計、桜に内閣府公認118回の虚実発言、財務省をはじめとする隠ぺい改ざん、公務員の赤木さんの痛ましい事実は忘れません。コロナじゃ日本モデルとか言ってましたが、どうにもなくなっちゃちゃいマスク配って、拳句に体調不良で政権投げ出し、こんなに疑惑や説明責任ゼーンぶ放っ

たらかしで国を挙げて弔えって言われてもね。

必ず朝は来る、夜は明ける

ところでコロナ禍の収束が予想のつかないこの頃、皆さん旅行や食事会飲み会、なかなかまなりませんね。そんな中、私の妄想を少し。来年の今頃には集団免疫もそこそこ、治療薬も出回り、電車バスとか、込み合っている場所を除き、マスクなしで生活できるのではとおっしゃる専門家もおられ、久々で同期の幹事打ち合わせかねて居酒屋で。もちろん十三のたまに行く店でかな。そしてカラオケになだれ込み、超久々の一曲目はお若い方はご存じないかもですが、あの、岡晴夫さん、「逢いたかったぜ 三年ぶりにい〜 逢えて嬉しや呑もうじゃないかあ〜 昔なじみのむかしなじみのお〜」あの唄です「逢いたかったぜ」名曲ですね。こんな妄想、現実のものとなりますかね、でも必ず朝は来る、夜は明ける、信じて今しばらく巣ごもり、心と身体の準備して待ちましょう。

2022年8月11日 記

事務局より

この記事을 いただいた時期はコロナウイルス感染対策の政策が変わりかけた時期でした。一応会合、外出制限の緩和が始まりました。



歴史探訪 (5)

日本のアーチ式石橋を訪ねて(1) ～通潤橋を造った種山石工～

かねだ よしはる
26期 兼田 吉治

私は2010年から2015年までの5年間、母の介護のために年に4回ほど熊本に帰省していた。母は92歳から特別養護老人ホームに入所していた2010年当時94歳で要介護3であった。当初は大坂南港から実家である球磨郡まで単純往復していたが、母の状態は安定していたこともあり、往路は九州各地の歴史的な場所を訪ねながら帰



写真1 種山石工による通潤橋（熊本県山都町）

省した。それは熊本のアーチ式石橋群や、飢肥(おび)の城下や、鹿屋航空基地資料館での神風特攻の記録などであった。

これらの歴史を探訪した中で、日本のアーチ式石橋を造った技術集団「種山石工」のルーツや歴史に名を残す石橋について、触れてみたいと思う。

日本のアーチ式石橋

空を横切る半円のアーチ、積み重なった石が織りなす絶妙の姿。写真1は石造単アーチ橋の通潤橋である。宮崎県延岡市から国道218号線を西に走り分水嶺を越えて熊本県緑川流域に入ると見事な石橋群が点在する。熊本には記録に残るだけでも全国のアーチ式石橋の約半数600基が集中する。中でも県中部を流れる緑川流域が最も多い。それには訳があって、日本のアーチ式石橋を造った技術集団は肥後藩種山村（現熊本県八代市）を拠点とする種山石工であった。

アーチ式石橋は石を積んで作られている。石積みの文化としては、日本でも城郭建築に石垣が多く用いられており、穴太石工集団など戦国時代（1570年代）から見事な城郭石垣が多く造られている。また、古墳墓陵にはアーチ様の石組も見られる。しかし、アーチ式石橋は江戸時代末期まで全く見当たらない。日本のアーチ式



写真2 日本一の単アーチ式石橋 霊台橋

石橋は江戸時代末期（1800年代）から明治、大正・昭和の半ばにかけて九州を中心に多く造られた。中でも明治中期までは熊本県が圧倒的に多い。江戸時代より前に日本にアーチ式石橋が伝来しなかったのはなぜか？ 岩手大学の宮本等は土木史研究第13号の中で「アーチの技術が江戸時代より前に日本に一度は伝達したものの日本の風土にあわないと判断され定着しなかったのか、留学技術者や技術交流をした当時の日本の技術者がアーチ技術のすばらしさの説明を受けても日本に導入する必要性認めなかったのか、現在は不明である。」と報告している。[3]

日本に初めて石造のアーチ橋が造られたのは、1634年（寛永11年）長崎の眼鏡橋である。中国から来日して興福寺の2代目住職となった黙子如定(もくすによじょう)によるもので、石工は中国から呼び寄せて建造したとされている。熊本に石橋が造られるのは、それより約150年後になる。当時日本に伝えられていた諸技術は中国伝来のものであり、アーチ式石橋は日本人には皆目見当もつかなかった。



写真3 岩永三五郎による鹿児島甲突川 西田橋

種山石工

種山石工の祖は、藤原林七という長崎奉行所の武士である。林七は長崎の眼鏡橋を目にし、アーチの下に支えもないのに崩れることなく建つ橋の構造に興味を持ち、当時出島に滞在していたオランダ人から架橋のための円周率の計算方法等を学んだと言われている。当時は鎖国下で外国人との接触を禁じていたため、その職務を越えたつき合いぶりが幕府の目にとまり、身の危険を感じた林七は侍を捨てて逃亡を企てる。各藩の往来が自由に出来ない当時である。彼は長崎～肥後往復の船にひそみ、命からがら肥後に渡り種山村（現八代市東陽町）まで来る。種山村には大きな採石場があり、ここで石工の宇



写真4 肥後の石工による皇居の正門石橋

七と出会い石工の技術を学ぶ。藤原姓を捨て種子山姓を名乗るようになった林七は、アーチ式石橋技術を身につけ、実験をかねて文化元年(1804年)初めて小さな石橋3基を建造した。これは林七自身が建造した唯一の石橋である。林七は息子たちにもてる知識と技術の全てを教え込んだ。そして地域の石工をまとめ種山石工を組織してアーチ式石橋技術を伝授した。父から子へ、子から孫へと伝えられた秘伝の技術は各地に見事な花を結び、一族の地位を不動のものとしていった。

中でも、林七の直弟子“三五郎”(宇七の二男)は、土木事業全般に優れた技術を持ち、その技術は神業とまでいわれた。通潤橋の手本となった雄亀滝橋(おけだきばし)を造って名声を得た三五郎は、八代の干拓工事に従事し、その功績により、苗字帯刀が許され「岩永」の姓がおくられる。その後、薩摩藩の要請により鹿児島で1840年から9年間に西田橋(写真3)をはじめとする36基の眼鏡橋を造った。

また、もう一人の種山石工を代表する名工が、“橋本勘五郎”(丈八)である。丈八は林七の長男“嘉八”の三男で、石橋文化のピーク時に活躍した。歴史的に有名な矢部の通潤橋を完成させ、肥後藩より苗字帯刀を許される。その後、明治4年(1871年)に明治政府に招かれ宮内省土木寮勤めとなり、万世橋を明治6年に、翌年に浅草橋と蓬莱橋、更に皇居の正門石橋(写真4)や日本橋、神田橋など次々に手がけ、それまで大火の度に焼け落ちた木造橋を優雅で強固な石橋に代えて、「肥後の石工」の名声を全国にとどろかせた。

江戸期から昭和30年代までの間に、石工達によって架けられた石橋は記録に残るだけで熊本

県内に600基。名が残る石工は160人を数え、その中で発祥の地とされる種山石工は約20人で、多くの名橋を残したとある。

幕末に忽然と現れ、70年間ほど活躍して忽然と歴史から姿を消した種山石工。水利に恵まれなかった白糸大地に水を送るために逆サイフォンを採り入れた水路橋である”通潤橋”や、国指定重要文化財となっている日本一の単一アーチ式石橋”霊台橋”(写真2)など、種山石工が架橋した名橋や、その工夫と活躍ぶり、更に高度経済成長期に石橋がたどる道などを次報で探訪してみたい。

参考資料

- [1] Wikipedia：通潤橋、霊台橋、肥後の石工、種山石工、雄亀滝橋、他
- [2] 美里町ホームページ：[観光・特産]>[石橋案内]
- [3] 土木史研究 第13号 1993年6月 岩手大学工学部 宮本他「アーチはどのようにして日本に伝来したか」
- [4] 熊本県公式観光サイト>くまもとLook>ふるさと寺子屋>熊本の石橋文化



この人あり

25期 横谷 良勝さんの 粘り強い努力の紹介

よこたに よしかつ
北辰25期会 世話人 ^{まえだ}前田 ^{なおと}直人

昨年開催された3年ぶりの「北辰25期会」に於いて同期生の横谷良勝さんが今後、マスターズ全国大会の投擲競技で日本1位を目指すと精悍な容姿で報告され参加者から羨望の眼差しと喝采



2022年の同期会にて横谷さん(右側)

を受けました。常日頃から25期会、北辰会には多大なご支援をいただいております、私も胸を打たれました。

後日改めて、横谷さんにご本人の陸上生活を北辰会に紹介させて欲しいとお願いいたしました。以前書き留めておられた文書「私とマスターズ陸上」と「横谷良勝のアピールタイム」が私に届きました。横谷さんの了解を得て北辰会に紹介し、横谷さんと皆さんの元気を湧き出せたら幸いです。

私とマスターズ陸上

よこたに よしかつ
25期 横谷 良勝

パソコンを学ぶ

僕のパソコン講座は先週で終わりましたが、帰る前の話でフルマラソン、全日本、断片的な話で理解してもらえというのが無理な話、恐らく半信半疑だろうなと思いました。

前回のブレイクタイムはエコについてということで余り話しもできず、そこでWordの練習のつもりでアピールタイムとして僕が何を経験し、何を考え、これからどうしようと思っているのか記してみようと思います。できれば最後まで読んでもらえれば幸いです。

40才から走り始める

僕が走り始めたのは40歳になってからです。地区の市民体育祭の2,000mに出場、両足のじん帯を痛め歩いてゴール、俺の体はここまで弱っていたのかと痛感、心機一転、朝5時に起きて、仕事に行くまでの時間を練習にあてました。

最初の2～3年はチンタラチンタラ練習していたのですが、初めてのレース、元旦マラソンに出場、年代別で3位に入賞、僕自身びっくりしたのを覚えています。

日本マスターズ陸上競技入賞

真剣に練習したらどうなる、やってみる価値はありそうだ、それからは毎朝10kmのタイムトライアル、その後100m、400mのインターバル練習をして仕事に行くという生活が50歳位まで続き、記録も伸びて、出場するレースで上位入賞するようになりました。印象に残るレースは競

技では55歳のとき、静岡で開催された全日本マスターズ陸上競技選手権大会でM55の部400mで4位入賞。マラソンでは50歳のときABC万博マラソン50代で3位、上位入賞者の中から抽選でホノルルマラソン招待選手となり無料で走りに行ったことでしょうか。

電気工事の仕事柄、立ちずくめの仕事、50歳を過ぎると無理がたたって足を故障するようになり、朝の練習を中止し走れるときに走る練習に変更、同時に大阪マスターズ陸上競技連盟（注）に所属し先輩の指導を請い、48歳から56歳まで全日本マスターズ陸上競技選手権大会に走りに行きました。一方こうしてレース、競技に参加できるのは運営する人の苦労があるからだに気付き、多少、人の為になればと、大阪陸上競技協会に登録、公認審判委員として活動する様になりました。

大阪陸上競技役員登録

審判歴現在13年になり身分は昔で言えば3種、2種、1種とありますが1種審判員（今はA級）に昇格、2005年の全日本マスターズ陸上競技選手権、2006年の高校陸上競技選手権（インターハイ）、2007年の世界陸上競技選手権に競技役員として参加しました。

現在は、25日に開催された大阪国際女子マラソンを始め30ほどの大会で競技役員をしています。

問題は吹田陸上競技連盟です。審判部に所属していて、4月になれば春季大会を開催します。80人位に競技役員の依頼状を出し、そして編成、こういう作業、今まではパソコンが出来ないので子供に頼んでいたのですが皆、結婚し家を出て、とうとう自分でやらなければならない、パソコン講座で先生方の指導を受け、今は自信を持って出来るようになりました。

70才までに日本マスターズで優勝

これからの夢というか、目標というのが3つあります。1つは生きてきた証しとして名前、記録を残すため、70才位までには全日本マスターズで1回は優勝したい。

2つ目は80歳まではフルマラソンを走る体力を維持し実際、最低年1回は走る。

3つ目は、これは新たに出来たのですが90歳まで

はパソコンを動かし孫やひ孫等とメールを交換する。

88歳を米寿、99歳を白寿、百歳以上を百寿者と言うそうですが百寿者は1963年には153人、2008年には3万6000人、2050年には推計70万人と予想されるそうです。

当然その有り様も変わるわけで、現に99歳でマスターズに入りM100の部、砲丸投げで世界記録を出す人、百寿者がパソコンでメールを楽しむ人等おられます。人に出来て自分に出来ないことはないだろうと思うわけです。

夢、目標を持てばそれを実現するために何を、どう努力しなければならないか……

とは言え明日のことが解からないのが人の世の常、途中で挫折しても、俺の人生どうだったと自問自答して、こんなもんじゃなかろうかと納得できる人生になればと念じています。

パソコンも2年位かけてもう一度入門講座から復習しようと思っています。

実際自分でやってみたら解からない事が多いと思います。その時は生徒としてパソコン講座に通おうと思っています。その節はよろしくお願いします。

こうしてパソコンの何たるかを教えてもらい、その入り口に立たせて下さった、藤原先生、宮武先生に深く感謝しています。願わくば、僕みたいな生徒が一人でも多くなるように、ご健勝でますますの活躍を心から願っています。ありがとうございました。

(注) 大阪マスターズ陸上競技連盟、各都道府県に連盟は存在する。上部団体に近畿マスターズ陸上競技連盟、その上に全日本マスターズ陸上競技連合があります。大会は年1回各都道府県のどこかで開催。

男性35歳、女性30歳から入会でき、クラスは5歳きざみ、僕は昭和20年生まれ、今年64歳ですからM60です。来年はM65、65歳から69歳のクラスに上がりチャンスになります。その競技会、記録会に行くと40代はひよっこ、50代は小僧、60代は若僧、70代で1人前と思うくらい、70代・80代の方が飛んだり、投げたり、走ったり、いろいろな種目に活躍しておられます。勿論80代でフルマラソンを完走しておられる方が何人もおられます。

各部門での記録を印刷しています。三田マス

ターズはハーフマラソンです。フルマラソンは完走書なので、皆破棄していてワースト記録のホノルルだけが残っていました。50歳以後フルは走っていませんが今年から全日本、フルと挑戦しようと思っています。

*追記 私は現在77歳です。この文章は13年前の64歳時のものです。



同期会・同好会だより

ステッキ手にした友も 久しぶりに18期同期会

みき じろう
18期 三木 次郎

新型コロナ感染の危険を避けて、しばらく休憩していた第18期同期会が11月22日（火）に母校ゆかりの地、十三の「がんこ十三総本店」で開かれ、前北辰会会長古城具祐さんの一声で21人が参加しました。

前回の同期会は2019年3月22日。以来、世話係数人が顔を合わせることはあっても、広く呼び掛けての同期会は棚上げ状態でした。この間、定会場になっていた十三東口近くのお馴染みの店がクローズ、会場を変えての開催となりました。

18期は「一番若い人」でも82歳。参加者の中にはステッキを手にした人も見かけましたが、みんな気持ちだけは昔のままで元気いっぱい、満面笑顔の再会でした。なかには開会時間直前



18期同期会に参集された皆さん(前列左から3人目 古城さん、後列右から4人目 岡田会長、後列右から2人目 佐藤さん、後列左から6人目 三木さん)

に「会場がわからん」との問い合わせがあり、「今どこへんまで来てるんや」と聞くと「それがわかったら苦労せん」——など落語のようなやり取りも。待ちかねた同期会は何とかほぼ定刻に始まりました。

最初に、北辰会会長を務める岡田多聞君の挨拶でスタート。いつもながら参加者一人ずつの「私のこの頃」の報告を兼ねた大演説が続き、「飲み放題」のピッチはさすが年寄りだけに緩やかなようでしたが・・・？

楽しい宴は、人生のごとくあっという間に終わり、恒例の校歌合唱。久しぶりに、夕べの星が瞬き、心を込めた同期生らの歌声にちょっぴり涙がにじんでいたようです。この日の記念写真におさまった全員が次回も顔をあわせるのはいうまでもありません・・・。

世話人：岡田多聞、古城具祐、佐藤寅夫、
三木次郎

北野24期だより

24期 さかもと しげお
坂本 成男

北野24期だより	発行責任者 田辺 勝	2023年2月 発行
	発行責任者 中西三男	
	編集者 坂本成男	Vol. 2023-1
あの日、あの瞬間(とき) 前田泰子		
お兄さん同級生に囲まれ緊張で始まった1年生 好きと言えないままの片思い 数学がまるで判らない!!山本先生と目が合わないよう下を 向いてばかり・・・目に入ったのは赤ざぶとん!カエルの 解剖中、なんだコリヤと触れたのが神経!! カエルも飛び上がったがそれ以上に驚き飛び上がったあの時。 社会の動きに素朴な疑問が芽生えた出来事もあの日、あの時、 忘れない忘れたくない色んなシーンを思い出させてくれる かけがえのないひとときを皆さんと共に過ごしたいのです。		
最後になるかも 中西三男		
新型コロナに翻弄されて3年あまり同期会も休業状態、あと 何回開催できるやら?最後になるかも知れない会を盛大に!! 開催しませんか。		
コロナ禍のなか年も改まりひと月あまり会員の皆さんにはご健勝 でしょうか。さて我が北野北辰会も閉会の運びとなり、24期会 も同様の事とならざるを得ず、この際、盛大な同期会の催しを皆さ んの歡智、アイデアを結集して行いたいと思ひ24期便りをお送り することと作成致しました。奮ってお知恵をおかし下さい。 開催時期は爛漫の春から初夏と思っています。 連絡は3月10日頃までお願いします。 連絡先 中西三男 携帯(090-1591-7731)		
編集後記 早速ですが狂乱ブーチンのウクライナ侵略、国土破壊と無差別殺戮 どうすれば止められるのか、悲しいです。一方国内では防衛費倍増、理由は秘密ですと、 秘密なら国会で秘密会議開いてでも熟議せんかい、専守防衛平和国家どこへ捨てた 愚か者めが、そう言えばそんな愚か者めのセリフ丸川珠代参議院議員が10数年前におつ しゃり、安倍元総理もボルボと変わらなと批判の急先鋒だったなあ、天網恢恢疎にして 漏らさず、児童手当の所得制限あんなに大反対だったのに何故か方針180度転回、 茂木幹事長はつきり言っておられて。何故そうなったのかきちんと説明する責任は有る わな、と。これ個人の意見です。異見のある方おられるでしょう。 皆さんがコロナに打ち勝ち元気な顔を会わせられるのを楽しみに。 坂本成男		

北辰25期会 3年ぶりに開催 2022.6.26 がんこ十三総本店にて ～北辰25期会の存続と世話人会留任～

北辰25期会 世話人 ^{まえだ}前田 ^{なおと}直人

2022年6月26日 がんこ十三総本店にて3年ぶり
に25期会が開催されました。開催に先だち25期
会世話人会は、北辰会が2024年12月31日をもっ
て閉じられる事を受けて、25期会の存続、世話
人会の皆様の同意を頂けるならその任を続ける
との意思統一を致しました。そして同期会当日、
出席者皆様に同意を頂きました。コロナ禍で3年
ぶりの開催となり参加者は17名と20名を切りま
した。皆さん淋しく思われ「次の25期会では20
名くらいは集いたいな」と言っておられました。

参加者や参加出来なかった方の声を「近況報
告・私の思うこと No.15」(表紙を末尾に添付)
として纏め、同期の方に送付しました。その中
から、ここでは世話人でもある齋藤陽子さんの
近況報告を抜粋して掲載します。



さいとう ようこ
齋藤 陽子(旧姓：柴田) 出席 大阪市淀川区
「姉妹会解散」

私は5人兄弟の末っ子で父を早くに亡くし、あ
の時代、一人で頑張ってくれた母が、滋賀県の
比良山の麓に住む兄と同居
した時、長患いした時の為
に少しずつお金を貯めて置
こうと、娘四人で定期的
に出し合ってきました。幸か
不幸か、三十年前、母は長
患いどころか、入院二十日
目に他界。喪が明け、貯め



齋藤 陽子さん

てきたお金でお疲れ様旅行をしたのをキッカケに積立を続け、お互いの連れ合いも一緒に、北海道から八重山まで各地を旅行。残念ながら上の二人の義兄が亡くなり、近場で一泊旅行を続けましたが、楽し過ぎた今までの兄弟旅行が忘れられず、何か物足りない思いでした。

心臓や足が悪くなった姉たちの為、残りのお金で息子が務めている観光バス会社のサロンカーをチャーターし、21名で三方五湖に一泊旅行をしたのを最後に、残った積立金はそのまま、我が家での新年会に招待する事にしました。歩ける人は電車で、足元が心配な人は其々の子供や孫が、送迎を担ってくれて、てっちりと唐揚げのワンパターンの食事を、毎年24～25名が集まってくれていました。そこにコロナが襲って来て、2度新年会を中止。今年、一番上の姉は91歳、二番目の姉は88歳、兄は86歳。もう外出する体力も気力も無くなったようです。そこで、亡くなってからでは遅いので、自分達の子供や孫の為に使って喜んで貰うのが、今一番の方法かと思い、姉妹会を精算しようと決心しました。お母ちゃん、お母ちゃんの為に始めた積立で、こんなに楽しませて貰いました。最後の締めは、これで良かったと思う？



北辰25期会 各位

北辰25期会世話人会

「北辰25期会運営要綱」

1. 本会の存続について

2024年12月31日 北野高校定時制高校同窓会「北辰会」の解散予定を受け、本会は「北辰25期会」として従来通り開催する。「北辰25期、懇親会」開催案内状送付者で構成され、活動を続ける。

2. 運営世話人について

現世話人、代表世話人はそのままとします。辞退はあっても追加は考えていません。

「同期会懇親会」で報告、承認を頂く。

3. 活動については

従来通りの「北辰25期、懇親会」の開催、「25期会だより」の発行、不定期に「私の思うこと」の発行。そして「25期メール会」必要有無。（未討議）

問題点があれば世話人会で討議します。

4. 運営資金

「北辰25期、懇親会」実費負担。事務費等は賛助金とします。「25期だより」等で会計報告をする。

5. 案内状送付者について

従来通りの人とし、会に音信不通者と世話人が判断した時は除外いたします。

本人からの参加の申し出有れば案内状送付致します。

6. 会計報告別のページに添付 43,626円残高あります。

(注 2022年6月26日同期会にて承認され25期会の存続が決まりました。)

2022年「北辰25期、懇親会」について

1. 日時：2022年6月26日 12時より
2. 場所：がんこ寿司十三総本店06-6302-9371
以下「がんこ十三店」と呼びます
3. 会費：4千円（3,500円料理、500円事務費）、飲料費は手持ち金で補填します。
4. 世話人会 当日11時「がんこ十三総本店」にて

以上2022年6月11日の北辰会幹事会で常任幹事会提案、北野高校定時制同窓会北辰会解散が審議されます。

それを見通し久々に開かれる「北辰25期会」について整理しました。

皆様の忌憚ないご意見をお聞かせください。

途上人KITANO 2023年花見を開催しました

26期世話人 かねだ よしはら おがはら きょうこ うめたに たけし
兼田 吉治、小河原 京子、梅谷 武

2023年4月5日（水）大阪万博記念公園に15名

が集い桜を愛でながら歓談しました。新型コロナ禍で外出自粛の3年間でしたが、コロナが落ち着いている今回は皆さん参加して頂きました。山田先生にも元気な姿を見せて頂き、23期の畑地さんも参加して下さいました。開花が早かった桜も残っていて楽しい近況報告会となりました。皆さん年齢75を過ぎて話しの内容は健康のこと、病気、薬のこと等が多くなりましたが、働いておられる方やボランティア活動をされている方も多く、元気な途上人KITANOのメンバーでした。



後列左から：小池さん、兼田さん、梅谷さん、桑名さん、小谷さん、畑地さん、仁張さん、高橋さん、小河原さん
前列左から：井口さん、渡部さん、山田先生、岡田さん、齊藤さん、西田さん

事務局からの報告

4月1日付 北野高校人事異動について

- 校長：現 天野 誠 校長先生は留任
- 教頭先生：新任 石田 和弘 北野高校教諭より昇任 担当教科は英語、情報
- 事務長：新任 井ノ本 勝巳 泉尾工業高校より赴任
- 前教頭佐々木里佳先生は大阪府立渋谷高校へ校長として昇任転出
- 冨本佳成事務長は大阪府立中津支援学校へ事務長として転出

2023年 北辰会拡大幹事会について

事務局

4月23日12時より十三がんこ十三総本店にて39名の参加で開催されました。

北辰会幹事会議案は事前に関係者各位には文書でお配りされています

会議は小河原副会長の司会、堀田常任幹事の議長のもとで議事が進行されました。

岡田会長の挨拶はこの幹事会は昨年の会則改正で北辰会「解散」を「閉じる」と文言を変更して採択されましたが皆様の北辰会思う熱い気

持ちは理解出来ますが後の憂いなく、2022年提案した北辰会解散を承認して頂きたいと強い要望がありました。

また、幹事会には新幹事として12期:池端正さん、19期:黄山平一さん、67期:山川靖子さんをお迎え致しました。この様な北辰会の状態で新幹事として働きたいという気持ちに熱く感謝しているとの挨拶がありました。

議事は

1. 新幹事の紹介
2. 会計報告、活動報告、北辰会HPの報告が承認されました。
3. 会則改正案は提案通り満場一致で採択されました。

兼田事務局次長よりこれを受け、解散確認文書が読み上げられました。

北辰会解散問題は北辰会報29号でより詳しくご報告いたします。

4. 2024年12月31日の閉会までの北辰会の活動

- ①2023年北辰会報29号
- ②賛助金運動 目標額200万円
一人3千円目標 宜しくお願い致します。
- ③2024年北辰会報30号（最終号）
- ④北辰会文集北宸Ⅵタイトル「北辰びと」サブタイトル「久遠に輝く希望の星」
- ⑤2024年5月26日（日）さよなら、ありがとう
北辰会総会（仮題）
- ⑥12月31日までに常任事務局を中心に北辰会

残務処理（会計、北辰会HP、手持ち文集の国会図書館、府立図書館、北野高校図書館などへの寄贈など）

以上の通り報告そして決定があり畑地常任幹事より閉会の挨拶がありました。

【重要なお知らせ】

北辰会の解散、および解散に至る経緯について

北辰会会長 岡田 多聞、副会長 小河原 京子
事務局長 前田 直人、事務局次長 兼田 吉治

1. 北辰会は2024年12月31日で解散します

2021年10月に、初めて拡大常任幹事会で「解散」が議題となり論議されました。その後論議が繰り返され2022年6月11日開催の拡大幹事会に「北辰会の解散」を提案して論議して頂きました。論議の結果「北辰会は2024年12月31日で解散」することが承認されました。

論議の中で、北辰会をとりまく諸々の事情は、解散せざるを得ない状況であることが再認識されました。そして、会長以下、拡大常任幹事会、幹事の皆さんが、断腸の思いで苦渋の決断を行いました。

2022年の拡大幹事会では「解散は忍びない。『閉じる』で行こう」とも論議されました。しかし「組織のけじめをつける意味からも『解散』という言葉を使わざるを得ない」との結論に至り、2023年4月23日開催の拡大幹事会に再度規約改正を提案させて頂いて規約第20条に解散の条文を盛り込みました。

北辰会は1941年の結成以来、83年間の活動をもって解散します。定時制は72年の歴史がありますが、北辰会はそれより11年も長い83年の歴史を刻みました。2009年の閉課程後14年間継続出来ました。誇りを持ちたいと思います。

2. 北辰会の実情と解散に至る経緯

(1) 社会・経済的背景に伴い定時制課程の質的変化が進みました

社会・経済的背景により高校進学率が90%以上となり定時制の質的変化が進みました。北辰会でも会員の2分化が進みました。北辰会への卒業生の結集は、1968年卒業の31期生以降から最

後の卒業生となった2007年67期生までほぼ無くなり、同期会も組織されていません。このため若い会員の方々の北辰会活動推進役への参加がほぼ得られていない状態です。

(2) 期単位で活動出来ているのは17期から30期迄

2009年の北野高校定時制の閉課程から14年が過ぎました。当然のことながら北辰会67期を最後に卒業生は無く新入会もありません。同時に現会員の高齢化が目立って来ています。現在活動出来ている期でも活動を推進して頂いている方々の高齢化が顕著です。長年北辰会を支え続けて頂いた諸先輩もご高齢となられ訃報も多く届いています。

北辰会の主イベントである総会への参加者数も減少の一途です。1990年開催総会へは328名の参加がありました。その後、総会参加者は1995年の420名をピークに2000年の403名、2005年290名、2009年245名、2014年208名、2018年197名と減少の一途です。

又、2020年に発生した新型コロナウイルス感染拡大の影響で北辰会活動での会合は3年間ほぼ停滞しました。新型コロナの終息が見られた2022年後半から2023年にかけても18期、24期、25期、途上人KITANOの会合のみが報告されています。

(3) 役員の高齢化が進む

更に大きな問題があります。それは、北辰会の推進役として活動して頂いている常任幹事や各期幹事の方々の高齢化の問題です。同期会も幹事の高齢化、固定化が進み、高齢化による同期会の解散も見られます。閉課程から14年が経過し、会員の高齢化は必然となっています。

組織の運営は役員の力量で決まります。岡田会長は満84歳です。三役も皆さん75歳以上で、岡田会長の在職は11年になります。前田事務局長が事務局長に就任したのは1987年で母校定時制課程創立50周年の時です。在任期36年になります。それぞれ年齢、体力、気力が限界に近づいています。

(4) 北辰会解散への準備

4年前から、会長、事務局長に不慮の事態が発生し職務を遂行できなくなった時の後任人事について、拡大常任幹事会で論議して参りました。その後、新型コロナウイルス感染拡大の影響で3年間の活動停止や、会長の大腿部骨折の大怪我による4ヶ月の入院、事務局長の身体内外の病気などが起りました。これらを勘案し、総合的に考えて、会長、副会長、事務局長、事務局次長の4人の合議で「現執行部が元気に活動できる中で解散を行うべきであろう」との結論に達しました。これを受けて2021年10月20日開催の拡大常任幹事会において「北辰会の解散」を論議しました。その結果「解散」を拡大幹事会に提案することが決定されました。

(5) 北辰会解散を保証するための会則改正

現在の会則には北辰会解散の規定がありません。このため、北辰会の最高決議機関である幹事会で解散を論議し決定する道筋を付けるための会則改正を行う必要があります。そこで、北辰会解散規定を追加する会則改正を提案することになりました。会則改正のポイントは次の3点です。

(a)第1条 会の名称の変更

現在の会の名称「北辰会」は一般的です。将来の混乱を避ける目的で「北野高等学校定時制

課程同窓会北辰会」の名称を使った会を今後組織することが出来ないように本会の名称を「北野高等学校定時制課程同窓会北辰会」に変更することを提案する。

(b)第20条として(本会解散の決議)を追加する。

第20条 本会が第2条（目的）、第3条（事業）の遂行が難しくなると会長、事務局長、常任幹事会が判断した時、拡大常任幹事会は幹事会に北辰会の解散を提案し、その議決を持って北辰会を解散する。

2 事務局長は会長と合議し北辰会の残務整理を行う。その結果を解散時の拡大常任幹事会に報告する。

(c) 附則

1. この会則は2023年4月24日に改正された。
2. 2024年12月31日を持って北野高等学校定時制課程同窓会北辰会は解散する。

3. 「ありがとう 北辰会」総会の開催と解散までの活動

- (1) 2024年5月に「ありがとう 北辰会」総会を開催し、歴史ある北辰会の思い出を歓談して頂く場を持ちます。
- (2) 2024年春に最後の北辰会報第30号を発行し皆様にお届けします。30号では総会のご案内を行います。
- (3) 最後の文集「北辰Ⅵ 北辰びと」を発行します。2024年5月の総会時に皆様にお配りできるように発行を準備します。
- (4) 会員相互の情報交換、情報共有を行うために、北辰高校HPへ組み込みされるまでは引き続き北辰会HPの掲載活動を継続します。

2023年 北辰会幹事懇親会の様子

拡大幹事会終了後北野高校天野誠校長先生、石田和弘新教頭先生のお二人がご参加して開催されました。

岡田会長よりお二人に感謝の挨拶がありました。

校長先生から、今年の新入生に北野高校定時制の課程の紹介、玄関入口にある北辰記念碑と校歌「ゆうべの星」も紹介したとの挨拶がありました。校長先生が北野高校新入生に北野定時制過程・北辰会を紹介して戴いた事は参加幹事皆様に深い感謝と感銘がありました。

教頭先生は、ご自身北野高校教師に赴任9年後他高校へ12年間転出され7年前北野高校へ戻られ、今年教頭に昇任されました。赴任当初の北

野高校は定時制もあり、老若男女の生徒が勉学に励まれていたことを覚えていると挨拶がありました。

12期新幹事、池端正さんに乾杯の音頭を取って頂きました。

4年振りの会食を伴う懇親会は場所も変わり、和気あいあいとした中で、新たなエネルギーを北辰会につぎ込まれたようです。

飛び入りで池端さんの詩吟「九月十三夜陣中作」（上杉謙信作）の披露がありました。事前に準備されず93歳で朗々とした吟詠には感嘆致しました。

26期梅谷さんのハーモニカ、28期井上さんのリードで校歌斉唱を楽しく、和やかな懇親会は閉じられました。

「北辰Ⅵ」タイトル「北辰びと」、サブタイトル「永遠に輝く 希望の星」の発行についてのお願い

1. 北辰会文集「北辰」校歌3部作が終わり

北辰会解散時、最後の文集として北辰Ⅵを発行致します。北辰会解散記念作品となります。

2. 表紙は前回文集の揮毫者29期竹本大鶴さんにお願いしました。快く引き受けて頂きました。

「夜空に輝き続けてほしいと願いをこめて揮毫しました」と述べられています。馴染み深い夜の校舎がバックです。

3. 裏表紙は編集会議で北辰会は誕生も解散後も星座の中にあり不変だろうとの思いで選びました。校章を真中に配置しました。



北辰Ⅵ 表紙デザイン



北辰Ⅵ 裏表紙デザイン

4. 現在の北辰会の財政からみて文集発行予算の余裕はありません。今回の賛助金運動に合わせて文集発行予算を皆様から募ります。宜しくご支援を賜りますようお願い申し上げます。

5. 1部1,500円とし賛助者の皆様へは郵送致します。

元北辰会副会長 18期 故 安福 利夫さんを偲ぶ

北辰会事務局長 ^{まえだ} 前田 ^{なあと} 直人

18期 会計監査 佐藤寅夫さんより安福さんが2022年6月9日にお亡くなりになったとの連絡がありました。

安福さんは私が北辰会活動に関わった時に最初に出会った人のお一人です。北辰会新人の私には当初から頼りになる心強い先輩でした。



故 安福利夫さん

安福さんは定時制在学中から大学卒業まで北野高校事務室に勤務され、その後府立高校教諭に赴任されました。困窮の中で「北野高校定時制に育てられた」といつも言われていました。周りの人たちは「定時制の申し子」と言っておられました。

1987年に北野高校定時制創立50周年記念祝賀会の実行委員を共に受けたのが関わりの最初でした。北辰会では私が関わる以前から重要な役割をはたされていたようです。1987年以後には副会長、常任幹事として十三天津閣で開催した1990年総会でご活躍されました。

北辰会応援の幹部の親睦会である北辰クラブでも2代目代表世話人としてお世話になりました。しかし、2003年の北野高校定時制課程閉課程反対運動の中で、安福さんと反対運動の中核を担っていた人との関わりにおいて、考えの相違や感情のもつれから常任幹事を離れられました。そのことを機に北辰会と私も疎遠になり関係を修復することなくお亡くなりになられたのは心残りであり残念なことでした。

安らかに眠りください。

合掌

2023年5月吉日

北辰会賛助金(運営資金カンパ)と 北辰会冊子「北辰Ⅵ」予約受付のお願い

北辰会会長 岡田多聞
北辰会事務局長 前田直人

平素は北辰会活動に暖かいご支援を頂き感謝しています。

北辰会の活動は、会員皆様からの賛助金を戴いて運営しております。

前回、2020年に343名の皆様から目標を上回る260万円を御支援頂きました。

厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの影響でほぼ3年にわたり北辰会活動は停滞していますが北辰会報の発行、北辰会HP掲載の活動を継続して進める事が出来、会員皆様のオアシス、青春の故郷の役割を果たせています。

北辰会は2024年12月31日で解散致します。2024年5月には「ありがとう北辰会」の解散総会の開催予定です。

最後までよろしくお願いします。

また、来年も北辰会報30号と最後の文集北辰Ⅵ「北辰びと」サブタイトル「久遠に輝く 希望の星」の発行を予定しています。

現在の北辰会には繰越金101万円の活動資金があります。

2023年2024年の2年間の活動資金と文集北辰Ⅵ発行費用を含め300万円を予定しています。

1年間の支出は約100万円位です。この内、主な支出は60万円の会報発行費です。北辰会としても今後のことも考慮し経費節減に努めてまいります。

賛助金目標 200万円 目安として1口3千円からご支援を賜りますようお願い申し上げます

併せて北辰会冊子「北辰Ⅵ」予約をお願い致します。1冊1,500円を願います。

発行は2024年5月の北辰会総会時を予定しています。皆様から多数のご予約をお待ち致しております。

年金生活や、医療費等々で皆様の生活も厳しいことと推察しております。

皆様の年齢も考え、会員相互の信頼と絆を強め、常に活力、安らぎを与えてくれる北辰会のさ維持するためにも、この目標はぜひ実現し、出来る限り北辰会を元気に存続させたいと願っております。役員一同誠心誠意努力して参ります。皆様の絶大なるご支援をお願い申し上げます。

* 添付の郵便振替用紙をご利用下さい。(振込み料は不要です)

* 出来る限り6月末日までに振込みお願い致します。

編集後記

2022年の幹事会では北辰会解散という文言に幹事さん多数から反対意見が続出致しました。北辰会への重い関わりを知りました。会長は皆様の思いを受け、北辰会を「閉じる」という文言への変更を提案、採択されました。

北辰会常任幹事会は「北辰会解散」の姿勢はゆるぎませんでした。2023年幹事会で

再度解散の規約改正を提案し、満場一致で採択を頂きました。

役員内部機関紙「北辰会だより」から事務局が編集責任を持ち、「北辰会報11号」と衣替えをして全会員に届けました。それから19年が経過し29号になりました。来年30号が最終号になります。

事務局一同